

シンハラ語後置詞 *gæna* の用法とその類似形態素

宮 岸 哲 也

The Usages of Sinhala Postposition “*gæna*” and Its Similar Morphemes

Tetsuya MIYAGISHI

1. はじめに

シンハラ語の後置詞 *gæna* は、日本語の複合助辞「について」に対応すると考えられるが、その意味や用法については、辞書や文法書でごく簡単に訳語や僅かな用例が提示されているに過ぎない。また、「について」が「を」や「に」のような格助詞、或いは「に関して」や「に対して」のような複合助辞と部分的な置き換えが可能であるのと同様に、*gæna* も他の形態素との置き換えが可能かどうかといことも問題となる。確かに、シンハラ語の辞書や文法書には、*gæna* と類似する後置詞として、*piḷibaⁿda* (に関する) があるという指摘も見られる。しかし、*piḷibaⁿda* 以外に *gæna* との置き換えが可能ない形態素があるかどうかの指摘は、筆者の知る限り、今までの辞書、文法書や研究書にはない。

そこで、小論では筆者が作成したシンハラ語コーパス¹⁾を調べ、*gæna* の意味・用法について詳しく記述し、分類するとともに、*gæna* と互換性がある形態素にはどのようなものがあり、それらがどのような場合に互換性を持ち得るのかを明らかにする。結論を大まかに述べておくと、まず、*gæna* は、そのままの形で体言と用言に結びつき得ること、用言との結びつきについては、①言語活動、②思考活動、③認識活動、④調査研究活動、⑤感情、⑥態度、⑦働きかけの、それぞれの動詞、或いは形容詞と結びつく用法がある。次に、互換性のある表現として、*piḷibaⁿda* 以外には対格、与格、共格、*kerehi* (に対して) があることが、今回コーパスを調べた結果分かった。

2. 先行研究

gæna について、シンハラ語文法では、後置詞 (前置詞)、或いはシンハラ語文法用語であるニパータ (不変化詞) として位置づけられ (Gunasekara 1891, 野口 1984, Karunatilake 1992), その用法については対格名詞に後置されるとある (Gunasekara 1891, Karunatilake 1992)。*gæna* の意味 (日本語訳) としては、「～について」「～に関して」「～の件で」が挙げられ (野口 1992), 例文としては以下のようなものが示されている。

1) 日本語とシンハラ語の対訳書籍 18 冊分をコーパスにしたもの。

- 1) *lankaa itihaasayə gænə saahənə dænumak oonə.* (野口 1984 : 290)
スリランカ 歴史 について かなり 知識 必要
[セイロンの歴史についてかなりの知識が必要だ]
- 2) *japan gænə wistərə kərənə.* (野口 1984 : 290)
日本 について 説明する [日本について説明しなさい]
- 3) *ee mahattəyə gænə kawurut dannəwa.* (Karunatilake 1997 : 125)
その 紳士 について 誰も 知る [誰でもその紳士について知っている]

gænə の語源については、*gannəwa* (取る) の過去分詞形に由来している (Gunasekara 1891)。また、*gænə* の類義語には、*pijibaⁿda* (～に関しての、～の点で、～について、～に関する) があり (野口 1992)、*gænə* は口語体・文章体の双方で用いられるのに対し、*pijibaⁿda* は文章体のみに使われる (野口 1984)。

以上のことから *gænə* の用法としては、言語活動や認識活動を表す動詞と結びつくことと、*pijibaⁿda* が文章体専用の後置詞として置き換えが可能であるということが、明らかにされていることが分かる。次章からは、コーパスから用例を収集し、シンハラ語 *gænə* の意味・用法と類似形態素について詳しく見ていくことにする。なお、用例末の《 》はその用例の出典の示している。

3. *gænə* の用法

3.1 連体接続用法

後置詞 *gænə* を伴った名詞は、4) のようにそのままの形で名詞を修飾することができる。これは、「の」を伴わなければ名詞を修飾できない日本語の「について」と、大きく異なる点でもある。

- 4) *kiyubaawə wipləwəyə gænə pot* 《HE》
キューバ 革命 について 本 [キューバ革命についての本]

3.2 連用接続用法

3.2.1 動詞接続用法

後置詞 *gænə* を伴った名詞は、直接動詞と結びつくが、このような動詞としては、①言語活動、②思考活動、③認識活動、④調査研究活動、⑤感情、⑥態度、⑦働きかけの7種に意味分類できる。

①言語活動

- 5) *taattaa nitərəəmə obə gænə kataa kərənəwa* 《MG》
父 いつも あなた について 話す [父はいつもあなたについて話している。]
- 6) *oyə niliyə gænə ahələ tiyənəwa də?* 《MW》
あなた 女優 について 聞く ある か
[あなたは、その女優について 聞いたことがあるか?]

- 7) *kiyubaawā gænə sinhalāyēn liyānā ladā potakut ohuṭā hamu wiya.* 《HE》
 キューバ ついて シンハラ語で 書く[受身] 本 彼 見つかった
 [彼はキューバについてシンハラ語で書いた本を見つけた。]

②思考活動

- 8) *ee kaale gænə apiṭā hitānna amaaruyi.* 《HE》
 その 時 ついて 我々 考える 難しい[その時のことを私たちが考えるのは難しい。]
- 9) *ee gænə maṭā pæhædiliwā ma teerenne nāæ.* 《KO》
 それ ついて 私 明確に 分かる ない。[それについてはっきり分からない]
- 10) *ohu tuḷā æti preemāyā gænə sækā kirimāṭā heetuwak nāæ.* 《MW》
 彼 中 ある 愛情 ついて 疑う 理由 ない
 [彼の愛情について疑う理由はない]

③認識活動

- 11) *nagārā sabhaa kaaryaalāyāyā paalānāyā gænə poḍḍakwat danne nāæ.* 《SJ》
 市 議会 委員 機構 ついて 少しも 知る ない
 [役所の機構について少しも知らない]
- 12) *æægee ruupāyā gænə hadisiyēn matak wiya.* 《KO》
 彼女の 姿 ついて ふと 思い出した [彼女の姿をふと思い出した。]
- 13) *ee wiwaahā yoojanaawā gænə maṭā sampurnāyēn ma amatakā wunāa.* 《KO》
 その 結婚 約束 ついて 私 完全 忘れた
 [私はその縁談を完全に忘れた。]

④調査研究活動

- 14) *api hungak durāṭā oya gænə parikshāā karāla balāla yi* 《SJ》
 我々 十分 あなた ついて 調査する みると
 [我々は十分あなたについて調査してみた]
- 15) *amārādaasa mahataa ohu gænə soyāṭā paṭān gattee yā.* 《HE》
 アマラダーサ 氏 彼 ついて 探す はじめる
 [アマラダーサ氏は彼を探し始めた。]
- 16) *kælæwāla hængila yuddha karānā krāma gænə gerilā saṭān gænə ehemā ugāwānāwa lu*
 森林に 隠れて 戦う 方法 ついて ゲリラ戦 ついて 等 教える そう
 [森に隠れて戦う方法やゲリラ戦について教えているらしい] 《HE》

⑤感情

- 17) *lokka niwaaḍu gatta ekā gænə satuṭu wena ayat innāwa.* 《SJ》
 上司 休暇 取る こと ついて 喜ぶ 人も いる。
 [課長が休んだことを喜ぶ人もいる。]
- 18) *taattā asāniipāyā gænə hondāṭā ma bāyā welāa wagee.* 《KO》
 父 病気 ついて 本当に 怖がる ようだ。
 [父は病気を本当に怖がっているようだ。]
- 19) *obā gænə man anukāmpāā karānāwa witarāyi.* 《KO》
 あなた ついて 私 憐れむ だけ 「私はあなたを気の毒に思うだけだ」

⑥態度

- 20) *maawə melowəʔə genaʔu ekə gænə mamə krutagña wenəwa.* 《SJ》
私 この世 もたらすこと について 私 感謝する
[私を生んでくれたことに感謝する。]
- 21) *ee gænə samaa wennə oonə.* 《KW》
それ について 容赦する ほしい [それについて許して欲しい]
- 22) *leḍəroogə gænə hungak parissəm wendə oonə.* 《WH》
病気 について 十分 注意する ねばならない
[病気には十分気をつけなければならない]
- 23) *obee birində gænə wat wisswaasə kərənne nəddə?* 《KO》
あなたの 奥さん について さえ 信用する ないか
[奥さんのことすら信用できないのか]

⑦働きかけ

- 24) *ayiyaa gænə baləntə əəʔə kisi wiʔəkə wiweekəyak noləbee.* 《MW》
兄 について みることに 彼女に 何時 暇 得られない
[兄の世話をするだけの暇はない]
- 25) *magee manaaliyə əndum gænə mamə ohuʔə karədərə nokefemi.* 《MW》
私の 花嫁衣装 について 私 彼に 迷惑をかけない
[花嫁衣装のことで私は彼に迷惑をかけない]
- 26) *magee sahoodərayə ohu gænə mandəkwat sələkuwee nam* 《MW》
私の 兄 彼 について 少し 世話をすれば
[私の兄がもう少し彼を世話してくれれば]

3.2.2 形容詞接続用法

後置詞 *gænə* を伴った名詞は、直接形容詞とも結びつくことができる。このような形容詞としては、感情を表すものが大半を占めるが、29) のように、記憶を表す形容詞もある。

- 27) *maa andinə kabaayə gænə maʔə læjjayi.* 《MW》
私 着る 上着 について 私に 恥ずかしい [私が着ている上着が恥ずかしい]
- 28) *maʔə lamayi gænə dukayi.* 《WH》
私に 子供 について 可哀そう [私は子供のことが可哀そうだ]
- 29) *meeʔəl koʔəyak damaa ewuu lipiyak gænə da maʔə matakəya.* 《KO》
もみじ 葉 入れる 送る 手紙 についても 私に 覚えている
[もみじの葉を入れて送った手紙を私は覚えている]

3.2.3 動詞句接続用法

gænə に後置された名詞は、単体の動詞ではなく、動詞と他の名詞から構成された句と結びつく場合がある。これらのうち、30) 31) のように、*gænə* に後置された名詞と動詞と結びついた名詞との関係が、全体一部分の関係になっている場合と、32) 33) のように、そうでない場合の二つに分けることができる。前者の場合、動詞が *dannəwa* (知る) や *hitənəwa* (知る) のよう

に、「3.2.1 動詞接続用法」で取り上げたような動詞が用いられているのが特徴的である。一方、後者の場合、動詞が *dakwænawa* (示す), *æti wenawa* (生まれる) のように、これらと結びついた名詞 *sælakillak* (関心) や *anukampaawak* (同情心) の助けを借りてはじめて、*gæna* と結びつきが可能になる。

- 30) *kabuki gæna hæma wistarayak ma dannawa* 《MG》
 歌舞伎 について 全ての 説明 強調 知る [歌舞伎についてなんでも知っている]
- 31) *minissu maa gæna naraaka dee hitanawa* 《MG》
 人々 私 について 悪い こと 思う。 [人々が私のことを悪く思う]
- 32) *ohu maa gæna kisiyam sælakillak dakwænnee nam* 《MW》
 彼 私 について 何らかの 関心 示す なら [私に特別な関心を示すなら]
- 33) *mistar watanabe gæna anukampaawak æti wunaa* 《SJ》
 ミスター 渡辺 について 同情心 生まれた [渡辺氏に対し同情心が芽生えた]

4. 類似形態素との互換性

今回コーパスを調べた結果、*pijiba*"*da* 以外に *gæna* と互換性のある形態素として、対格、与格を示す接辞、並びに *sama*"*ga* (～と[共格]) と *kerehi* (～に対して) の後置詞があることが分かった。そのうち、対格と互換性のあるのは、言語活動、思考活動、認識活動、調査研究活動を表す動詞、与格と *kerehi* (に対して) との互換性があるのは、感情、態度を表す動詞、そして、*sama*"*ga* (共格) と互換性がある動詞として、*amanaapa wenawa* (不仲になる、怒る、憤慨する、気にさわる) があることが分かった。

4.1 *gæna* と対格

①言語活動

34)～37) は、同じ言語活動でも *gæna* と対格のどちらも取り得る例である。

- 34) *magee atiitaya gæna wistara kara dennæyi* 《KO》
 私の 過去 について 説明する 与えると [私の過去について説明してくれと]
- 35) *ammaa edina siduwuu dææ ohup wistara kafeeya* 《友》
 母 その日 起こる 事 彼に 説明した。 [母は彼にその日の出来事を話した]
- 36) *kasaadayak gæna sandəhan kajot* 《SJ》
 結婚 について 話す と [結婚について話す]
- 37) *kawureku wuwa da dannaa karunak oba sandəhan kaləhot* 《MG》
 誰 でも 知る 事情 あなた 話す なら
 [誰でも知っている事情をあなたが話すなら]

しかし、38) 39) のような例は、それぞれの対格名詞を *gæna* に置き換えると文意も違ってしまふ。*boruwak* (嘘) と *japan basa* (日本語) は、それぞれ対格名詞として用いられる場合は、言語活動によって形作られたものとして「嘘」と「日本語」となるが、*gæna* に置き換えた場合

には、「嘘とはどんなものか」「日本語とはどんな言語か」というテーマになってしまうのである。

- 38) *wenat boruwak kiyaa ohu maga harintə siduwee.* 《MG》
 別の嘘 言う 彼 避ける 起こる
 [別の嘘を言って、彼を避けねければならない]
- 39) *raŋu parəlu uccaarənəyen japan basa kataa kelee ya.* 《MW》
 荒い 発音で 日本語 話した [荒々しい発音で日本語を話した]

②思考活動

40)～43) は、同じ思考活動でも *gənə* と対格のどちらも取り得る例である。

- 40) *api hitənə tarəm ma deməwpiyoo gənə kalpanaa kərəkərə inne nəæ.* 《SJ》
 私達 思う ほど 両親 について 考える いる ない
 [我々が思うほど親について考えてはいない]
- 41) *əyi hadisiyen ma ohoma ekak kalpanaa kelee?* 《MG》
 なぜ 急に そんな こと 考えた [なぜ急にそんなことを考えたのか]
- 42) *ee gənə teerumu ganna bəri hindəyi* 《KO》
 それ について 理解する できないので [それについて理解できないので]
- 43) *minisungee pitupasa pamənak balaa owungee hængiima teerumu ganna bəri* 《KO》
 人間の 後姿 だけ 見る 彼の 心 理解する できない
 [人の後ろ姿だけを見て人の心を理解することはできない]

③認知活動

認知活動を表す動詞でも、*gənə* と対格の互換性が見られる。

- 44) *dewendora sange tatwəyə gənə matə kisiwak dənəgata nohəki wiya.* 《MW》
 デウエンドラさんの 容態 について 私に 何 知る 出来なかった
 [デウエンドラさんの容態について私にも何も知ることが出来なかった]
- 45) *ingirisi dənəgena hiŋiyot mula di puŋuwəni pirimaha ganna.* 《MG》
 英語 知る いると 最初 で できる 処理する 得る
 [英語を知っていれば最初はそれで用が足りる]
- 46) *matə oya gənə matək wenəkotət hit weedənaawak əti wenəwa.* 《SJ》
 私に それ について 思い出すときも 心 痛み 生じる
 [私はそれについて思い出すだけでも心痛が起こる]
- 47) *oyaa wihiŋuwətə kiyəpu kataawa matə matak wenəwa.* 《SJ》
 君 冗談で 読む 物語 私に 思い出す [君が読んだ笑いを私は思い出す]

④調査研究活動

調査・研究活動を表す動詞でも、*gənə* と対格の互換性が見られる。しかし、*gənə* に後置され

る名詞と対格名詞の間には意味の違いがある。*gæna* に後置される名詞は、調査・研究の対象というよりもテーマであり、48)であれば例えば日本語の発音であったり、文法であったり、何か日本語のある部分についての専門的な勉強が想起される。一方、対格名詞は調査研究の直接的全体的な対象となり、49)であればまさに英語を語学学習として発音や文法を特に分けることなく、全体的に学ぶ対象となる。

- 48) *mamə japan basa gæna igena gannawa.* (作例)
私 日本語 について 勉強する [私は日本語について勉強する]
- 49) *mamə ena sumaane hiṭən yanawa rææ iskoolekaṭə, ingirisi igena ganna.* 《MW》
私 来週 から 行く 夜間学校に 英語 勉強する
[私は来週から夜間学校に英語を勉強しに行く]
- 50) *aməradaasa mahataa ohu gæna soyantə paṭən gattee ya.* 《HE》
アマラダーサ 氏 彼 について 探す 始めた[アマラダーサ氏は彼を探し始めた]
- 51) *ohu soyaa yaaməṭə maṭə situṇi.* 《KO》
彼 探す 行く 私 思った。 [彼を訪問しようと私は思った]

4.2 *gæna* と与格

①感情を表す動詞

gæna と与格の互換性が認められる動詞として、まず感情を表す動詞がある。

- 52) *keṭin ma pæmiṇili kərənḍa aapu ekə gæna api hungak santoosa wenawa.* 《SJ》
直接 苦情を言う 来ること について 我々 ととも 喜ぶ
[率直に苦情を言いに来ることを我々はとても歓迎する]
- 53) *man wiṣṣwa widyaalen upadhi aran aapu ekəṭə taatə eccara santoosha wuṇee* 《KO》
私 大学から 学位 取る 帰る ことに 父 そんな 喜ぶ
[私が大学を卒業して帰ってきたことを父がそんなに喜ぶのは…]
- 54) *oba gæna man anukampaa kərənawa witarayi.* 《KO》
あなた について 私 同情する だけ [私はあなたのことを同情するだけだ]
- 55) *æyi ohu maṭə anukampaa kərənne?* 《MW》
なぜ 彼 私に 同情する [なぜ彼は私に同情するのか]

②態度を表す動詞

態度を表す動詞も *gæna* と与格の互換性が認められる動詞である。

- 56) *eyaṭə æwida ganḍa bæri hinda otenṭama wela innawa. ee gæna samaa wanna oonæ.*
彼に 歩く できないため そのままいる それ について 許す 欲しい
[彼が動けなくなったため、このままでいることを許して欲しい] 《KW》

- 57) *obee taatta mærenakan man balaa genā innawa wage obəʔə dænunə nam*
 あなたの父 死ぬまで 私 待って いる よう あなたに感じるなら
eekəʔə samaa wanna. 《KO》
 それに許す [君の父上が死ぬのを待っているように聞こえたら、許してくれ]
- 58) *matu anaagataya gænə utsuka no wii* 《MW》
 将来 ついて 熱心に ならない [将来について考えすぎず,]
- 59) *ihəʔə ahəsee æti grahəlooka pawaa tarənyaya kiriiməʔə utsuka wii æta.* 《懸》
 上の空 ある 惑星 さえ 行くことに 熱心になっている
 [天空の惑星にさえ行くことに懸命になっている]

4.3 *gænə* と *kerehi*

kerehi は、「に対する」「に対して」を表す後置詞で、文章体のみに使われる。感情・態度を表す動詞において *gænə* との互換性がある点において、与格の場合と共通する。

①感情を表す動詞

- 60) *magee kriyaawə gænə uranə wuu saməntika* 《PD》
 私の 行動 ついて 怒った サマンティカ
 [私の行為に腹を立てたサマンティカ]
- 61) *kawərə kaarənyak nisaa da maa ohu kerehi uranə wuyee?* 《MW》
 何 原因 ため か 私 彼 対して 怒った。
 [一体何が原因で私は彼に激怒したのか?]
- 62) *maa gænə mage sita kalakireyi.* 《MW》
 私 ついて 私の 心 失望する [自分の姿に私の心は失望する]
- 63) *ohu maa kerehi kalakiruni da?* 《MW》
 彼 私 対して 失望する か [彼は私に対して失望しているのではないか]

②態度を表す動詞

- 64) *rengasaami aawee saawitri mamə gænə səka kərəpu nisaa* 《WD》
 レンガサーミ 来た サーヴィトリ 私 ついて 疑った ため
 [レンガサーミがきたのはサーヴィトリが私を疑っているからだ]
- 65) *magee baappaa kerehi mamə kohomə səka kərənna* 《KO》
 私の 叔父 対して 私 どうして 疑う
 [叔父を、私がどうして疑う事ができるでしょう]
- 66) *dewendora san paarəmpərika kalaawan gænə unanduwak dəkwiiima* 《MW》
 デウエンドラさん 伝統 芸術 ついて 興味 示すこと
 [デウエンドラさんが伝統芸術に興味を示すこと]
- 67) *owun kabuki wəni kalaawak kerehi unanduwak dəkwənnē kalaaturəkini.* 《MG》
 彼女達 歌舞伎 ような 芸術 対し 関心 示す 稀だ。
 [彼女たちが歌舞伎のような芸術に対し関心を示すのは稀だ]

4.4 3形態の互換性が認められた例

3形態の互換性が認められた例として、コーパスの中からは① *gænə*, 対格, 与格, ② *gænə*, 対格, *kerehi*, ③ *gænə*, *kerehi*, 共格の, それぞれを抽出できた

① *gænə*, 対格, 与格

gænə, 対格, 与格の3形態を取る動詞としては, 68) ~ 70) の *tiirəṇaya kərəṇawa* (決定する) と, 71) ~ 73) の *amətaka wenəwa* (忘れる) の二つの動詞が抽出できた。

- 68) *mangalləyak gænə taama tiirəṇaya kərəla nəæ*. 《MW》
結婚式 ついて まだ 決定する ない [挙式についてまだ決めていない]
- 69) *ikmənin dawask tiirəṇaya kərəṇna oona*. 《MW》
早く 日 決定する 必要 [早く日取りを決めねばならない]
- 70) *mamə suLu mudalak soya gənə ehi yæəməṭə tiirəṇaya keḷemi*. 《KO》
私 僅か お金 探す そこ 行くこと 決めた
[私は少しの金を集め, 行く事にした]
- 71) *obee piyaa gænə məṭə amətaka wii tibunaa*. 《KO》
君の 父 ついて 私に 忘れた あった [君のお父さんの事を私は忘れていた]
- 72) *dəriya “maamaa! maamaa!” kiyəmin kəægəsiima kaatət amətaka wii gihin*. 《友》
少女 おじさんおじさん と 叫んだこと 誰も 忘れる 行った。
[少女が「おじさん, おじさん」と叫んでいたことをみんな忘れてしまった]
- 73) *ohuṭə gaurəwa kiriimətət anukəmpa kiriimətət məṭə amətaka wunaa*. 《KO》
彼に 尊敬することも 同情することも 私に 忘れた。
[彼を尊敬することも同情することも私は忘れていた]

② *gænə*, 対格, *kerehi*

gænə, 対格, *kerehi* の3形態を取る動詞としては, *wiṣṣwaasa kərəṇawa* (信用する) が抽出できた。

- 74) *obee birinda gænə wat wiṣṣwaasa kərəṇne nədda?* 《SJ》
君の 妻 ついて さえ 信用 する ない か [君の妻さえ信用しないのか]
- 75) *ohugee kataawa wiṣṣwaasa nokərəṇa bawak da owungee muhunin piḷibimbu wee*. 《SJ》
彼の 話 信用 しない こと も 彼の 顔から 表れた。
[彼の話信用していなことが彼の顔から滲みでた]
- 76) *keneku kerehi wiṣṣwaasa kərəṇin* 《MW》
人に 対し 信用しながら [人を信用しながら]

③ *gænə*, *kerehi*, 共格

- 77) *ohu rəki goḷuwata gænə mamə amənaṭə no wuyemi*. 《KO》
彼 事 無言 ついて 私 憤慨しなかった
[彼が何も言わないことに私は憤慨しなかった。]

- 78) *hideji maa kerehi amānaapa wii* 《MG》
 博次 私 対し 憤慨し [博次が私に憤慨し]
- 79) *nogiyot pradhaana nilādhaariyaa maa samānga amānaapa wee yayi mamā biya wimi.*
 行かないと上の 役人 私 不仲になると 私 恐れた《MW》
 [参加しなければ上司が私を悪く思うだろうと心配になった]

5. ま と め

以上、コーパスを調査した結果をまとめると、まず、*gaena* は、そのままの形で体言と用言に結びつく。次に、用言との結びつきとして、動詞については、言語活動、思考活動、認識活動、調査研究活動、感情、態度、働きかけの動詞と結びつく用法があり、形容詞については感情や記憶にかかわる形容詞と結びつく用法がある。更に、動詞と名詞からなる句レベルでの *gaena* との結びつきでは、動詞だけの意味で結びつきを可能にしているものと、名詞の意味の力を借りて結びつきを可能にしているものの2つのタイプがある。

他の接辞や後置詞との互換性について、言語活動、思考活動、認識活動、調査研究活動を表す動詞の場合には対格との互換性があり、感情や態度を表す動詞の場合には、与格や *kerehi* との互換性が認められた。また、対格・与格、対格・*kerehi*、或いは *kerehi*・共格のように複数の形態との互換性があるものも見つかった。

6. お わ り に

今回、シンハラ語コーパスを調べたことで、今まで詳しく説明されてこなかった *gaena* の意味・用法とその類似形態素について、かなり明らかになった点は、一定の成果であろう。一方で、今回使用したコーパスがシンハラ語の全てを網羅しているわけではないことも忘れてはならない。また、不適格な例を抽出して分析することができないという点も、コーパス調査の限界である。より精度の高い規則性を見つけるためには、適格文と不適格文の双方の分析が必要である。

今後の課題としては、今回の結果をもとに、仮説を立ててシンハラ語母語話者を対象にしたアンケート調査を実施することが挙げられる。特に、互換性が生じる名詞の条件、互換性が生じる場合のニュアンスの違いについて、更に用例を精査したうえで仮説を立てなければならないだろう。そして、その仮説を検証するために、シンハラ語母語話者の中でも、日本語学習の影響を受けていない日本語未習者を対象にした、シンハラ語文の正誤を判定させるアンケートを実施する必要がある。

用 例 出 典

- 《MG》 Ediriwiira Sracchandra, *maḷagiya aṭṭoo* (Colombo: S. Godage, 1959)
 《MW》 Ediriwiira Sracchandra, *maḷawungee awurudu daa* (Colombo: S. Godage, 1965)
 《KO》 tadashi Noguchi, *kokoro* <夏目漱石『こころ』訳> (Colombo: S. Godage, 1979)
 《KW》 Aariya Rajakaruna, *kawabata yasunarigee keṬi kathaa* <川端康成短編集> (Colombo: Gunasena, 1998)
 《SJ》 Aariya Rajakaruna, *sreeshTha japan chitrapaṭa kathaa* <日本映画シナリオ秀作：黒澤明『生きる』他の

- 訳> (Colombo: Lake House, 1986)
 《WD》Anula Wijayaratna Menikee, *waDabaa ginna* (kottawa: Sara Publishers, 1991)
 《WH》Aariya Rajakaruna, *wiwaahaya* <小津安二郎『麦秋』訳> (Colombo: S. Godage, 2001)
 《HE》Ediriwira Sracchandra, *heṭṭa ecchara kaLuwara nœœ* (Colombo: *pradiipa prakaṣakayoo*, 1975)
 《PD》Ranjit Dharmakirti, *pradiipaagaaraya yaṭṭa* (Colombo: S. Godage, 1984)
 《友》日下大器・日下淑子編『ともだちその他シンハラの話』くさか基金, 1997
 《懸》日下淑子・日下大器編『懸賞論文(スリランカ国)「迎える世紀でスリランカ社会が乗り越えなければならない挑戦」くさか基金, 2000

参 考 文 献

- Gunasekara, A.M. (1891) *A Comprehensive Grammar of the Sinhalese Language*, (Reprinted by Asian Educational Services, New Delhi 1986)
 Karunatillake, W.S. (1992) *An Introduction to Spoken Sinhala*. Colombo: Gunasena
 野口忠司 (1984) 『シンハラ語の入門』大学書林
 野口忠司 (1992) 『シンハラ語辞典』大学書林

[2012. 9. 27 受理]